

平成30年第6回 日高市教育委員会会議録

開催の日時	平成30年6月27日（水曜日） 午後1時42分から3時47分まで
会議開催の場所	市役所503会議室
会議の公開又は非公開の別	公開。ただし人事案件については非公開。
非公開理由	個人に関する情報が含まれるため。
出席委員の氏名	中村一夫（教育長）・矢次健志・島村由起男・神山好子・井上三枝
欠席委員の氏名	なし
説明員の職氏名	教育部長 吉野靖彦・教育総務課長 鈴木雅広・ 学校教育課長 野村弘人・学校教育課副参事 松崎努・ 生涯学習課長 駒井実・高麗川南公民館長 田嶋雅昭
出席した事務局職員の職氏名	教育総務課主幹 菊地誠治
傍聴者数	1人
会議資料の名称	会議次第・教育長報告・報告第5号から報告第9号・ 議案第21、22号・配布資料一覧

議題及び決定事項等

- 報告第5号 専決処理について
原案どおり承認
- 報告第6号 専決処理について
原案どおり承認
- 報告第7号 専決処理について
原案どおり承認
- 報告第8号 専決処理について
原案どおり承認
- 報告第9号 専決処理について
原案どおり承認
- 議案第21号 日高市学校給食センター運営委員会委員の委嘱について
原案どおり可決
- 議案第22号 日高市社会教育委員の委嘱について
原案どおり可決

会議の経過

- 1) 前回会議録の承認事項 出席委員異議なく承認
- 2) 教育長報告の要旨
 - 校長会議、教育委員会部課長会議における教育長指示・伝達内容について報告

した。

○その他、各部課長から、実施した事業等の結果と今後の予定を報告した。

3) 教育長報告についての質疑及び答弁の要旨

【教育長報告関連】

(委員) 高麗川南公民館において、ネームプレートを活用しての満足度確認や館内でBGMを活用しているとのことであるが、非常にビジネス感覚をお持ちで素晴らしいと思う。併せて、職員の服装について、いかにも市役所の職員という服装ではなく、市民との接点を持つうえでの最前線であるので、柔らかい服装に変えるなど工夫があっても良いのではないか。

(高麗川南公民館長) ありがとうございます。服装については、市役所全体のドレスコードもあるため、参考のご意見としてお伺いしたいと思います。

(委員) 他の公民館を含めて、公民館だよりの見た目など、もっと市民に伝わるような工夫をしていただきたい。

(高麗川南公民館長) 検討していきたいと思います。

(委員) 議会の一般質問の内容で、リカレント教育について触れられているが、高齢者限定ではなく、子どものころから学習に興味がないと、なかなか切り替えができるものではない。高齢者が働いてもらうための、不足している教育補充ではなく、全体の年齢層をとらえたうえで考えていくべきである。

(教育部長) 公民館事業の講座などで、幅広い年齢層を対象に設定しているが、自身の知識を広げられるような講座をさらに展開していきたいと考えている。

(委員) 公民館事業の枠組みの中だけであると、寿学級のような年齢層の固定化が生じるので、全く新しい視点で進めていくのが望ましいと考える。

(委員) 学校のAEDの設置場所について、主にどこに設置しているのか。

(教育部参事) 小学校は、職員室が4校と保健室が2校である。中学校は、職員室もしくは職員室前の廊下である。

(委員) AEDを使用する可能性が高い対象が多いのは、職員室である。保健室に設置してある理由はなにか。

(教育部参事) 理由としては、小学校で子どもが活動している時間は、勤務時間内であるため、保健室には養護教諭がいることで出入りは自由である。中学校で保健室に設置していない理由としては、土日の部活動など保健室が空いていない時間もあるためである。

(委員) 保健室が入りやすい場所なら良いが。

(教育部参事) 保健室が1階で、外からの出入り口を備えているため、入りやすくなっている。

(委員) 性的マイノリティの関係について、日高市で実際にあるのか。

(教育部参事) 相談の実績はある。

(委員) 思春期で異性を感じる年齢なので、本人が表面に出しづらい部分であるため、把握するのが難しい。大きな問題であるので、把握の方法を含め対応をデリケートにお願いしたい。

(教育長) 講演会を実施したところ、相談があったりしている。一つ一つの情報については、個人情報であるため、開示することはできないが、いろいろな相談窓口があるなどの周知はしているところである。

(委員) ノロウイルスが終息したとのことであるが、終息の判断はどこがしたのか。

(学校教育課長) 狭山保健所である。

(教育部参事) 体調不良になったときには、学校でノロウイルスが発生していたことを病院に伝えるように周知したところである。

【教育長報告：資料1関連】

(委員) 子ども育成連絡協議会について、小中一貫教育に向けて、いくらか組織を集約し始めているのか。

(教育長) まだ、そこまでのことではなく、これからの話である。

(委員) 学力向上の部分で、学校を訪問して授業を見ながら感じたところであるが、やはり教員の指導方法や技術にかなりの差があると思う。子どもが指導者により差が生じることがないように最低限の部分だけでも均一化したほうが良い。

(教育長) まさに、そこが課題である。教員研修などでも一番の課題である。指導力に差があることも事実であり、重ねて指導しているところである。

(委員) 特にAETの授業を見て感じたことであるが、ネイティブの英語での発音とは感じられない方もいた。それが悪いというわけではないが、例えば、音楽を聞かせるとか、映画を見させてネイティブな英語を体感してもらうなどの方法も効果があるのではないか。

(教育長) 差がある中で、どうしていくかというのが本当に難しい問題である。指導力のある教員の授業を見て勉強するなど、研修を重ねているところであるが、問題点の全てを解消できていないわけではない。自主的に研究していく心構えも持ってほしいところではある。

(教育部参事) 学校指導訪問などにより、指導やアドバイスを重ねているが、そのような機会をふやしていくことが重要と考えている。各校長には、若い世代について、様々な研修の機会を与えるようお願いしている。

(委員2) 均一化について、指導要領などがある中で、どこまで教育委員会が踏み込んでよいかというのが課題ではないか。

(委員) 中間世代とのコミュニケーションを取ることが苦手と言われている現在の若い世代が、中間世代などが蓄積している指導のノウハウが分からないまま、上の世代になっていくことは非常に問題が生じてくるのではないかと感じている。対応は早いうちが良い。

(教育部参事) 若い世代については、研修制度は充実している状況である。また、

研究授業なども活用しながら、それらの機会を生かしてもらうように指導していきたい。

(委員3) 研修については、自主希望か、または推薦で参加するのか。

(教育部参事) 両方の研修制度があるので、各校長に研修制度をうまく活用して、教員を育成してもらうようお願いしている。

(教育長) いただいた意見について、参考にしながら進めていきたい。

(委員) 学校の運動会において、PTA綱引きの際に綱が切れたと聞いたが、道具の点検はどのようにしているのか。

(教育長) 道具や備品の点検については、当然しているが、今回については、子ども用の綱を使用した際に想定以上の人数参加があったためと聞いている。今後、配慮していくべき問題であるので、注意していきたい。

4) 議案についての質疑及び答弁の要旨

報告第5号から報告第9号について 非公開のため記載せず

議案第21号、第22号について 非公開のため記載せず

5) その他

(1) 次回定例会の日程等について

○7月定例会：7月26日（木曜日）午後2時00分から 委員了承

○8月定例会：8月22日（水曜日）午後1時40分から 委員了承

(2) その他連絡事項

○平成30年度埼玉県市町村教育委員研究協議会

7月19日【さいたま市：埼玉会館】

○平成30年度入間地区教育委員会連合会第2回理事会及び全体研修会

10月18日【坂戸市：坂戸グランドホテル】